

◎ヒューマリンN注ミリオペン・▼バイアル [注]

【重要度】★ 【一般製剤名】インスリンヒト（遺伝子組換え）（U） insulin human（genetical recombination） 【分類】持続型インスリン製剤

【単位】◎100単位/mL [1本3mL]、▼10mL/V [100単位/mL]

【用法】1回4～20U、朝食前30分以内（初回）；1日4～80U（維持量）を皮下注

【透析患者への投与方法】血糖値に応じて投与（1）

【その他の報告】50%に減量（10,17）

【PD】50%に減量（17）

【CRRT】75%に減量（17）

【保存期CKD患者への投与方法】血糖値に応じて投与（1）

【その他の報告】Ccr>50mL/min：減量の必要なし、Ccr10～50mL/min：75%に減量、Ccr<10mL/min：50%に減量（3,10,17）

【特徴】中間型インスリンで、作用を持続させるために硫酸プロタミンと結合させたNPH系製剤。

【主な副作用・毒性】低血糖、ショック、過敏症、浮腫、注射部位異常など

【モニターすべき項目】血糖値、体重測定、尿糖、尿中ケトン体、HbA1c、血清pH、血清リン値

【tmax】2hr（1）

【代謝】吸収される前に皮下の酵素によりプロタミンとインスリンに解離する。インスリンは肝及び腎で代謝される（U）

【排泄】30～80%が腎排泄される。未変化体のインスリンは再吸収される（U）尿中未変化体排泄率5%以下（10）5%（14）

【CL】167～667mL/min（10）【非腎CL/総CL】40%（10）

【蛋白結合率】5%（10）5%以下（11）

【Vd】0.6L/kg（14）【分布】ほとんどの細胞内に分布（U）

【MW】5808

【透析性】分子量が大きいため除去されにくいと考えられるがある種の合成高分子膜には付着により血中濃度が低下する（5）

【効果発現時間】1～3hr【最大効果発現時間】6～12hr

【効果持続時間】18～28hr

【更新日】20170413

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院でいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国特許権法並びに国際条約により保護されています。